












足立区の景況

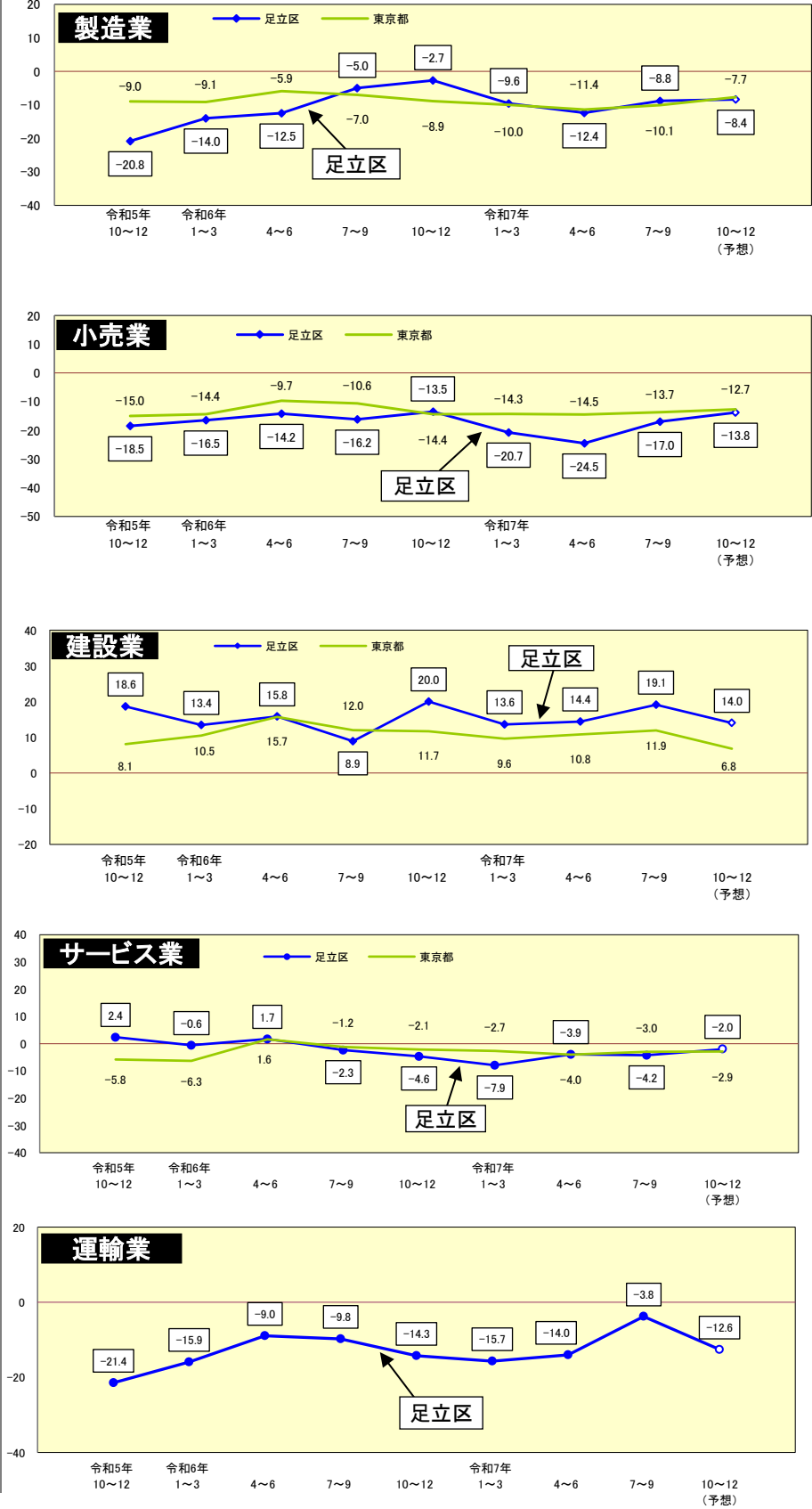
これは、令和 7 年 9 月上旬～10 月中旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先 3 ヶ月間（令和 7 年 10 月～12 月）の予想をまとめたものです。

調査対象	製造業 129 社	小売業 64 社
	建設業 70 社	サービス業 55 社
	運輸業 40 社	
調査方法	面接聴取、郵送アンケート（運輸業）	
調査機関	一般社団法人 東京都信用金庫協会	
分析・作成	株式会社 東京商工リサーチ	

	 A	 B	 C	 D	 E	 F	 G
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20 以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31 以下
小売業	10 以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41 以下
建設業	20 以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31 以下
サービス業	15 以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36 以下
運輸業	15 以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36 以下

足立区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測

製 造 業	<前期>  E	<今期>  D	<来期>  D
	業況は 3 ポイント増の-9 と厳しさがわずかに和らいだ。 売上額は 1 ポイント減の-7 と前期並の減少が続き、収益は 5 ポイント減の-12 と減益幅が若干拡大した。 価格動向は、販売価格は増減なく 23 と前期並の上昇が続き、原材料価格は 10 ポイント減の 42 と上昇が大きく弱まった。原材料在庫は 1 ポイント増の-2 と不足から適正水準となった。		
小 売 業	<前期>  E	<今期>  D	<来期>  D
	業況は 8 ポイント増の-17 と大幅に持ち直した。 売上額は 6 ポイント増の-5、収益は 12 ポイント増の-12 とともに減少・減益幅がかなり縮小した。 価格動向は、販売価格は 1 ポイント減の 28 と前期並の上昇が続き、仕入価格は 2 ポイント増の 47 と上昇がやや強まり、在庫は増減なく 0 と適性水準に保たれた。		
建 設 業	<前期>  B	<今期>  B	<来期>  B
	業況は 5 ポイント増の 19 と好調感がやや強まった。 売上額は 9 ポイント増の 19 と好調さを大きく強め、収益は 2 ポイント増の 2 と増加幅が幾分拡大した。 価格動向は、請負価格は 11 ポイント増の 28 と上昇がかなり強まり、材料価格は 3 ポイント増の 46 と上昇幅が幾分拡大した。在庫は 5 ポイント増の 3 と適性水準から過剰となった。		
サービス業	<前期>  C	<今期>  C	<来期>  C
	業況は増減なく-4 と前期同様の厳しさが続いた。 売上額は 4 ポイント減の 3 と増加幅が多少縮小し、収益は 6 ポイント減の-2 と増加から減少に転じた。 価格動向は、料金価格は 1 ポイント減の 9 と前期並の上昇が続き、材料価格は 9 ポイント減の 23 と上昇が大きく弱まった。		
運 輸 業	<前期>  D	<今期>  C	<来期>  D
	業況は 10 ポイント増の-4 と悪化幅が大きく縮小した。 売上額は 2 と前期同様の水準で推移し、収益は 6 ポイント減の-8 と減益幅が大幅に拡大した。 価格動向は、サービス提供価格は 5 ポイント減の 5 と上昇がやや弱まり、仕入価格は 2 ポイント増の 47 と上昇がわずかに強まった。		



足立区 業種別 経営上の問題点

	製造業	小売業	建設業	サービス業	運輸業
第1位	原材料高 46.5 %	同業者間の競争の激化 28.1 %	材料価格の上昇 58.6 %	同業者間の競争の激化 41.8 %	人手不足 52.0 %
第2位	売上の停滞・減少 33.3 %	売上の停滞・減少 25.0 %	人手不足 35.7 %	人手不足 40.0 %	仕入価格の上昇 48.0 %
第3位	人件費の増加 20.2 %	大型店との競争の激化 23.4 %	同業者間の競争の激化 25.7 %	人件費の増加 30.9 %	売上の停滞・減少 36.0 %
第4位	人手不足 18.6 %	仕入先からの値上げ要請 20.3 %	人件費の増加 20.0 %	材料価格の上昇 16.4 %	人件費の増加 28.0 %
第5位	同業者間の競争の激化 利幅の縮小 13.2 %	人手不足 14.1 %	利幅の縮小 17.1 %	売上の停滞・減少 12.7 %	車両の老朽化 16.0 %
	仕入先からの値上げ要請	利幅の縮小 人件費の増加	下請の確保難		

足立区 業種別 重点経営施策

	製造業	小売業	建設業	サービス業	運輸業
第1位	販路を広げる 51.9 %	経費を節減する 54.7 %	経費を節減する 47.1 %	経費を節減する 52.7 %	人材を確保する 57.1 %
第2位	経費を節減する 18.6 %	宣伝・広告を強化する 35.9 %	人材を確保する 32.9 %	人材を確保する 40.0 %	経費を節減する 39.3 %
第3位	情報力を強化する 12.4 %	品揃えを改善する 28.1 %	販路を広げる 24.3 %	販路を広げる 36.4 %	販路を広げる 35.7 %
第4位	新製品・技術を開発する 7.8 %	技術力を高める 22.9 %	技術力を高める 22.9 %	労働条件を改善する 25.0 %	車両を新規導入・修繕する 21.4 %
第5位	機械化を推進する 7.0 %	店舗・設備を改装する 9.4 %	不動産の有効活用を図る 7.1 %	技術力を強化する 10.9 %	新しい事業を始める
	不採算部門を整理・縮小する	売れ筋商品を取り扱う			

注）サービス業は平成 22 年 1～3 月期からデータの継続性を重視するため、一般社団法人東京都信用金庫協会が調査したデータを使用しています。

※運輸業の DI 値について 令和 6 年度より、令和 4 年度以降の運輸業の DI 値として修正値を参照しています。

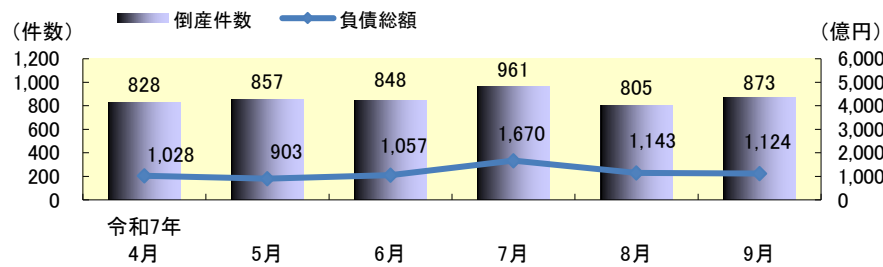
※来期予測について 今後の見通しについては、社会情勢等の影響により実態と差異が生じる可能性があります。

全国、東京都、足立区の企業倒産動向（令和7年7～9月期）

【(株)東京商エリサーチ調べ】

1.全国の倒産動向

(1)概況:直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



全国の倒産動向は、今期（令和7年7～9月）は件数では2,639件と前期（令和7年4～6月）より106件増加し、負債総額では3,937億円と949億円増加した。

(2)大型倒産

- ①MPH（株）/東京都/脱毛サロン経営/26,000百万円/破産
- ②（株）JSファンダリ/東京都/パワー半導体ウエハー製造 /16,179百万円/破産
- ③（株）片岡製作所/京都府/レーザー加工装置製造ほか/ 11,673百万円/民事再生法

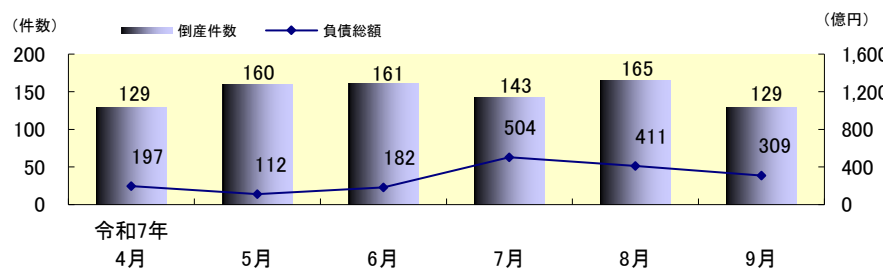
2.東京都の倒産動向

(1)概況

	前年同期 令和6年 7～9月	前期 令和7年 4～6月	今期 令和7年 7～9月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	442	450	437	-2.9%	-1.1%
負債総額(億円)	899	491	1,223	149.1%	36.0%

※負債総額について、「億円」単位以下を四捨五入しているため、表とグラフで誤差がございます。

(2)直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



東京都の企業倒産は、437件（前期比2.9%減）と前期から減少した。
業種別にみると、卸売業、小売業、建設業、不動産業で倒産件数が増加している。
負債総額は1,223億円（同149.1%増）と増加し、業種別にみると、サービス業が最多であった。

(3)原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年7～9月		前期 令和7年4～6月		今期 令和7年7～9月			
	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
放漫経営	49	306	30	78	48	384	60.0%	-2.0%
過小資本	3	7	2	3	3	5	50.0%	0.0%
他社倒産の余波	28	28	30	47	32	51	6.7%	14.3%
既往のシワ寄せ	41	187	43	76	53	262	23.3%	29.3%
販売不振	312	351	327	266	283	423	-13.5%	-9.3%
売掛金等回収難	0	0	3	4	6	16	100.0%	-
信用性低下	3	1	5	4	2	74	-60.0%	-33.3%
在庫状態悪化	2	3	1	0	0	0	-100.0%	-100.0%
設備投資過大	1	0	0	0	0	0	-	-100.0%
その他	3	11	9	9	10	5	11.1%	233.3%
合計	442	899	450	491	437	1,223	-2.9%	-1.1%

(4)業種別の倒産動向

	前年同期 令和6年7～9月		前期 令和7年4～6月		今期 令和7年7～9月			
	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
製造業	35	297	34	54	22	176	-35.3%	-37.1%
卸売業	70	130	64	159	73	215	14.1%	4.3%
小売業	45	20	36	22	49	71	36.1%	8.9%
サービス業	102	130	122	66	103	390	-15.6%	1.0%
建設業	54	57	56	38	59	54	5.4%	9.3%
不動産業	18	68	22	72	23	129	4.5%	27.8%
情報通信業・運輸業	70	58	58	27	58	158	0.0%	-17.1%
宿泊業・飲食サービス業	30	108	36	13	32	15	-11.1%	6.7%
その他	18	27	22	36	18	12	-18.2%	0.0%
合計	442	899	450	491	437	1,223	-2.9%	-1.1%

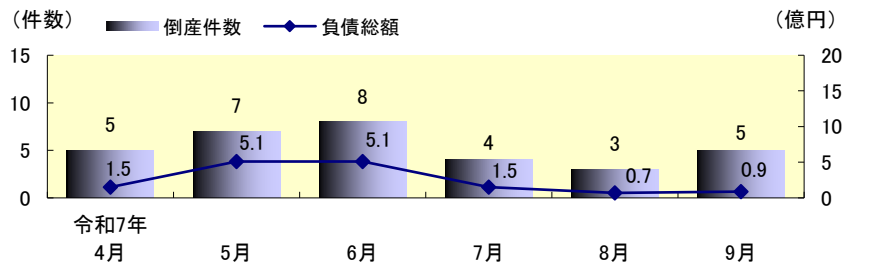
3.足立区の倒産動向

(1)概況

	前年同期 令和6年 7～9月	前期 令和7年 4～6月	今期 令和7年 7～9月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	13	20	12	-40.0%	-7.7%
負債総額(百万円)	2,255	1,189	324	-72.8%	-85.6%

※負債総額について、表は「百万円」単位、グラフは「億円」単位以下を四捨五入しているため、合算値に誤差がございます。

(2)直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



足立区の倒産動向は、件数は12件（前期比40.0%減）と前期から減少した。負債総額は3億2,400万円と前期比約8億6,500万円減少した。
業種別にみると、小売業、建設業で3件ずつ、製造業、卸売業、サービス業、不動産業、宿泊業・飲食サービス業、その他の業種で1件ずつ倒産しており、最多負債総額は建設業の9,100万円であった。

(3)原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年7～9月		前期 令和7年4～6月		今期 令和7年7～9月			
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
放漫経営	2	30	2	168	2	70	0.0%	0.0%
過小資本	0	0	1	200	0	0	-100.0%	-
他社倒産の余波	0	0	0	0	0	0	-	-
既往のシワ寄せ	0	0	1	20	1	45	0.0%	-
販売不振	10	2,052	15	711	9	209	-40.0%	-10.0%
売掛金等回収難	0	0	1	90	0	0	-100.0%	-
信用性低下	0	0	0	0	0	0	-	-
在庫状態悪化	1	173	0	0	0	0	-	-100.0%
設備投資過大	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	-	-
合計	13	2,255	20	1,189	12	324	-40.0%	-7.7%

(4)業種別の倒産動向

	前年同期 令和6年7～9月		前期 令和7年4～6月		今期 令和7年7～9月			
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
製造業	1	18	2	53	1	75	-50.0%	0.0%
卸売業	5	1,772	3	188	1	10	-66.7%	-80.0%
小売業	2	185	0	0	3	35	-	50.0%
サービス業	1	20	5	131	1	10	-80.0%	0.0%
建設業	3	230	5	644	3	91	-40.0%	0.0%
不動産業	0	0	1	10	1	20	0.0%	-
情報通信業・運輸業	1	30	2	60	0	0	-100.0%	-100.0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0	1	63	1	23	0.0%	-
その他	0	0	1	40	1	60	0.0%	-
合計	13	2,255	20	1,189	12	324	-40.0%	-7.7%

発行日:令和7年12月 発行:足立区
編集:足立区 産業経済部 産業政策課
住所:東京都足立区中央本町 1-17-1 TEL:03-3880-5182(直通)